

△ 注意事項

- 詰め替えをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全な詰め替えや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンターに損傷を与える場合があります。
- 本取扱説明書に記載されていること以外に行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。
- 本製品は純正インクカートリッジの新品を対象としており、その使用後に詰め替えインクを使用していること以外のインクカートリッジでは、本詰め替え製品はお使いになれませんので、ご承知くださるようお願いいたします。
- 他社製詰め替えインクと混合・併用、再生・互換品のインクタンクに詰め替えて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。

△ 安全上の注意と保管について

- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ちたりしないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
- ポケットドリルは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ、小児・幼児の手の届かないところで保管してください。また、インクの詰め替え専用にお使いいただくための道具であり、本用途以外の目的にはお使いにならないでください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けてください。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
- インクは開封後1年以内にご使用ください。
- 詰め替えした後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりと、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

製品について

- 本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
- 本製品はキヤノン(株)とは無関係で、承認を受けたものではありません。
- 記載されている会社名・製品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
- 改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。
- 製品上の原因による品質不具合が認められた場合は、同数の新しい製品と取替えいたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いいたします。

対応インクタンク

キヤノン BC-345 / BC-345XL / BC-346 / BC-346XL

対応プリンター

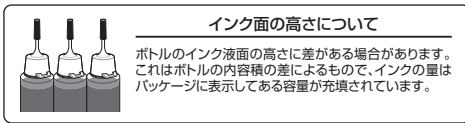
PIXUS TS3130 / TS203

※上記は、対象カートリッジに対応する全てのプリンターです。各インクの対応プリンターはパッケージをご覧ください。
※上記注意事項をお読みください。

セット内容

数量はパッケージをご覧ください

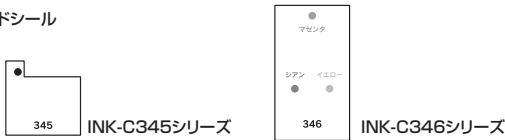
①インクボトル



インク成分

- ・ブラック(顔料)・・・[蒸留水]50～60%・[グリコール]20～30%・[その他顔料]10～30%
- ・シアン……………[蒸留水]60～70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]10～20%・[染料]15～20%
- ・マゼンタ……………[蒸留水]60～70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]10～20%・[染料]15～20%
- ・イエロー……………[蒸留水]60～70%・[グリコール・イソプロピルアルコールなど]10～20%・[染料]15～20%

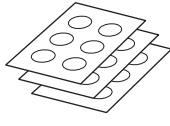
②ドリルガイドシール



③ドリル



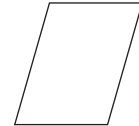
④注入口シール



⑤ポリ手袋



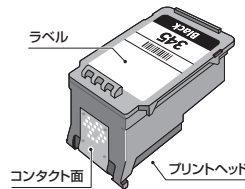
⑥取扱説明書



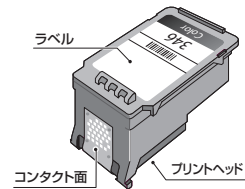
※詰め替え工具は専用工具です。本製品をお使いいただく時は、他のキヤノン対応詰め替え用工具(ドリルやプラグなど)は使用できません。必ず上記の工具を使用してください。本製品以外では工具の種類が違いますので、不完全な詰め替えとなり、プリンターに損傷を与える恐れがあります。

各部の名称

●BC-345/BC-345XL



●BC-346/BC-346XL



△ 注意
コンタクト面やプリントヘッドには触れないでください。故障の原因となります。

🔧 詰め替えの前に必ずお読みください

本書に記載されていること以外に行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

△ 詰め替えインクでプリンターを使用される時の注意事項

インクの残量表示 (手順⑧を参照)

インクタンクの特性上、下記ようになります。
(1)インクの残量は表示されません。
(2)残量表示の(X)や(!)マークが表示された場合は、同じように表示され、マークは消えません。

残量の確認 2回目以降の詰め替えるタイミング

詰め替えたインクは残量が表示されないため、外部から分かりませんので、印刷状態を確認しながら早めに2回目以降の詰め替えを行ってください。

インク残量検知機能の無効操作 (手順⑧を参照)

残量や残量検知のエラーでプリンターが一時停止となった時に、本書(取扱説明書)に従い操作を行ってください。
※事前の設定や操作はできません。一時停止となった時に行ってください。

※インクを詰め替えたインクタンクやそれを使用したプリンターは、メーカーによっては不正改造にあたりとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不具合、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。
※インクタンクのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

! 詰め替えのポイント

準備 (汚れ防止のための準備)

- 詰め替えの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。
- 手や着衣にインクがつかないように付属の手袋(⑤)をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



確認

- 長期間プリンターを使っていない場合は、必ず印刷できるか確認してください。また、取外して放置されていたインクカートリッジは、インクが正常に出て印刷できるか確認してください。正常でないインクカートリッジを詰め替えても印字不良となります。

詰め替えのタイミング

- 印刷にかすれが見えてきたら早めに詰め替えを行ってください。

詰め替え回数(推奨限度回数)

- 詰め替えによるインクカートリッジの再使用は各色3～4回までが適当です。それ以上の詰め替えはインク供給に不具合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

詰め替え後のクリーニング

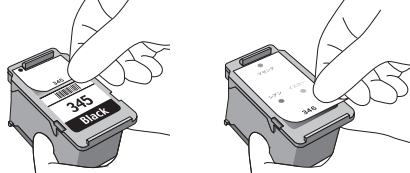
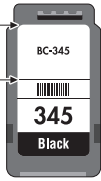
- クリーニングの繰り返しはインクが消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止して、トラブルシューティングを参照してください。

1 ドリルガイドシールをカートリッジに貼る

ドリルガイドシール(②)をお使いのカートリッジのラベルに合わせて貼付けます。
※カートリッジによってシールが異なります。

●BC-345(345XL)のとき ●BC-346(346XL)のとき

BC-345ガイドシールはこのラインに合わせて貼る



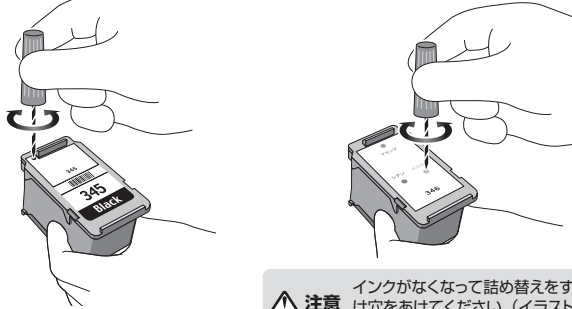
※BC-345ガイドシールは上図のラインを目安に貼ってください。

2 カートリッジにインク注入口をあける

ドリルガイドシールの丸い穴にドリル(③)の先端を合わせ、垂直に立てた状態で力を加えながら、右回り、左回りに交互に回転させて、まっすぐ穴をあけます。

●BC-345(345XL)のとき

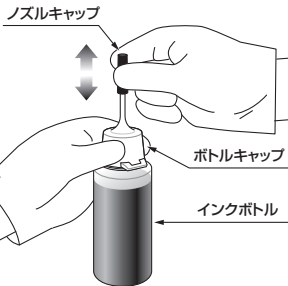
●BC-346(346XL)のとき



注意 インクがなくなって詰め替えをする色だけ穴をあけてください。(イラストはイエローの詰め替えを例にしています)

3 インクボトルのノズルキャップをはずす

ポリ手袋(⑤)を着用します。インクボトルのノズルキャップを取外したり取付ける際は、ボトルキャップの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かしてください。



注意 インクボトル部分は絶対に押さえしないでください。押さえるとインクが飛び出すことがあります。(ノズルキャップを閉める際はノズルの先端から1cmほど差し込んでください)

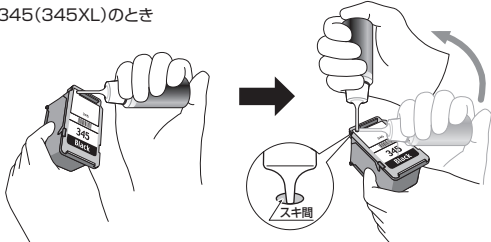


4 インクを注入する

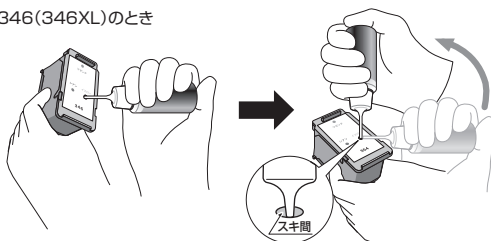
- (1)カートリッジを横向きにし、手順②で開けた注入口にインクボトルのノズルの先端を1cmほど差し込みます。
- (2)そのままの状態でもカートリッジとインクボトルを起し、いったんボトルのノズルを注入口がふさがるまで差し込み、次に5mmほど引き上げて、ゆっくりとボトルをしぼりながらインクを注入します。

注意 差し込みすぎに注意し、注入口に空気逃げのスキ間を必ず開けてください。詰め替え中に注入口やプリントヘッドからインクがあふれたり、漏れた場合はその時点で注入を終了してください。

●BC-345(345XL)のとき



●BC-346(346XL)のとき



4 インクを注入する(続き)

注入量の目安

BC-345(345XL)	標準量	約6ml (12ml)
BC-346(346XL)	標準量	約3ml (4ml)*

*1色あたりの注入量です。

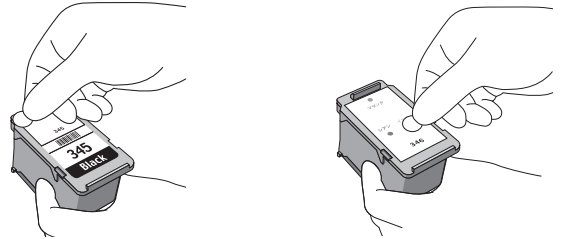
注意 詰め替えて入るインク量は、1~2回目はおむね標準量より多く入り、3回目以降は少なくなります。上記の注入量はインクを使い切ったときの平均的な推定量で、お使いの状況や詰め替えをするタイミングにより変わります。

5 注入口にシールを貼る

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどでふき取り、付属の注入口シール(④)を貼ります。

●BC-345(345XL)のとき

●BC-346(346XL)のとき



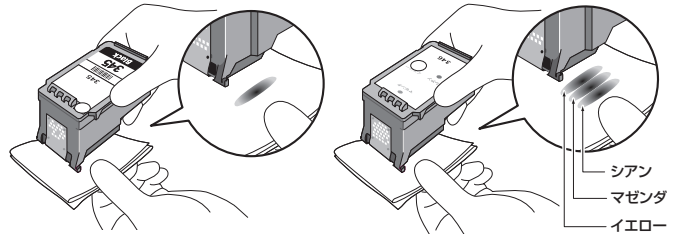
6 ヘッドからのインクの確認をする

厚く重ねたティッシュペーパーなどにプリントヘッドを2~3回押し当てて余分なインクを取り除きます。その後、図のようにインクのにじみ跡がはっきりと確認できたら完了です。

注意 プリントヘッド部分は強く拭いたりこすらないでください。紙の繊維がほころびプリントヘッドのノズルの穴に入り込み、印刷不良となることがあります。

●BC-345(345XL)のとき

●BC-346(346XL)のとき



これで詰め替え作業は終了です。

●詰め替えたあとの作業について

インク残量検知機能無効操作について

本カートリッジを使用するプリンターの特性上、いったん外したカートリッジを付け直した際に「インク残量を正しく検知できません」ということを知らせるメッセージが表示される場合があります。継続して使用するにはインク残量検知機能を解除しなければなりません。詰め替えをしたカートリッジを使用する場合もこの操作を行う必要があります。(この作業方法についてはキヤノンとは無関係であり、承認されたものではありません。)

※インク残量検知機能を無効にした後はインク残量警告やインク残量が表示されませんので、印刷の際はあらかじめノズルチェックパターンなどでインクの有無を確認しながら行ってください。

※ノズルチェックや印刷にかすがが見られる場合は早めに詰め替えを行ってください。

※インク残量検知機能はカートリッジを再び新品カートリッジに替えることにより、有効になります。

7 詰め替えたカートリッジをプリンターにセットする

詰め替えたカートリッジをプリンターにセットすると、次のメッセージがパソコン画面に表示されます。印刷開始をクリックします。

Canon TS3100 series - USB012



インクカートリッジの取り付けまたは交換が行われた後、ヘッド位置調整が行われていません。

このまま印刷を継続する場合は、[印刷開始]をクリックしてください。印刷を終了後、ヘッド位置調整を行ってください。ヘッド位置調整の操作は、取扱説明書を参照してください。

取扱説明書

インクを購入する

印刷開始

印刷中止

8 インク残量検知機能を無効にする

印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。その場合は各々の手順に従って操作を行ってください。
※メッセージが表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。

ステータスマニター TS3130 / TS203	操作パネル液晶モニター TS3130	エラーランプ TS203
		<p>13回点滅 または 16回点滅</p>



操作手順

TS3130の場合

TS203の場合

操作パネルのストップボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能になります。

9 クリーニングと印字テスト

最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンターの取扱説明書を参照してください。
※クリーニングの繰り返しはインクが多く消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止し、トラブルシューティングを参照してください。

詰め替え回数

詰め替えによるカートリッジの再使用は各色3~4回までが適当です。それ以上の詰め替えはインク供給に不具合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。その際は詰め替えたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

2回目以降の詰め替え

注入口シールをはがし、④~⑥の手順で詰め替えを行ってください。

●BC-345(345XL)のとき

注入口シールをはがす



手順④へ

●BC-346(346XL)のとき

注入口シールをはがす



まだ詰め替えていないカラーを詰め替える場合

手順④へ

前回と同じカラーを詰め替える場合

手順⑤へ

詰め替えが終わったら

詰め替えた後の残ったインクは、キャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい所に立てて保管してください。

トラブルシューティングQ&A

クリーニングの繰り返しは詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。
以下の状態のインクタンクで詰め替えをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。

- (1)再生インクタンク、互換品インクタンク、他社詰め替えインクと混合、併用などしている場合。(純正新品使用後のインクタンク対応です)
- (2)詰め替え回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったもの。
- (3)他社詰め替えインクや治具・道具を使用したあとのインクタンク。
- (4)インクがなくなって長い間放置(使用しない)されていて、詰め替え不能なインクタンク。

	症状	確認事項	処置
製品について	製品内容が記載と異なる。	パッケージ正面および側面の表記を確認してください。	付属品がない、または数量が不足している場合は、購入された販売店まで連絡してください。
	インクボトルからインクがもれている。	箱やボトルの損傷はありませんか。	損傷がない場合は、購入された販売店まで連絡してください。
	壊れているものがある。	箱やボトルの損傷はありませんか。	損傷がない場合は、購入された販売店まで連絡してください。
詰め替え作業中	注入中に注入口からインクがあふれ出てくる。	入れ方が強すぎませんでしたか。インクの入れ過ぎの可能性があります。	インクの注入は静かにゆっくりと行ってください。強く急な注入は勢いで注入口からあふれ出しやすくなります。インクの注入量は(手順④)を参照して、標準量を参考にして終了してください。入れ過ぎはノズルにも影響が出やすく、印字不良になりやすくなります。
	注入中にプリントヘッドからインクが漏れてくる。	注入口をふさいでいませんか。	ノズルを差し込みすぎで注入口をふさいだ状態では、インクが入った分の空気が抜けなためノズルから漏れてきます。注入中は注入口とノズルの間にすき間をあけてください。(手順④参照)
	最後のインク確認でプリントヘッドからインクが漏れてくる。	インクの入れすぎの可能性があります。	ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
	最後のインク確認でインクが出ていない。	詰め替え前にヘッドの確認をしましたか。(インクが固まって付いていませんか)	ヘッドにインクがついたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、使用できない可能性があります。詰め替えインクが瞬間的にカートリッジ内やノズルを凝固させることはありません。
		インク注入量が不足していませんか。	注入口からの漏れなどのため途中で注入を止めた場合でも、その後、まだインクが入ることがあります。再度、インクを注入してみてください。
	付属品の注入口シールがなくなった。	市販の接着テープなどを代用でお使いください。	注入口の封止が目的ですので、接着テープをお使いいただいても問題ありません。
印刷の時	注入後、プリントヘッドからインクが漏れてくる。	インクの入れ過ぎの可能性があります。	ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
	カートリッジをプリンターにつけても動作しない。	インク残量検知を無効にする操作をしましたか。	詰め替えあとのカートリッジはインク残量検知機能を無効にして使用しますので、その操作を行ってください。(手順⑥)
		カートリッジを確認してください。	互換カートリッジや再生リサイクルカートリッジを使っていませんか。純正品以外には対応しておりません。
		カートリッジのコンタクト面やプリンター側のコンタクト面が汚れていませんか。	汚れなどによりプリンターが認識しない場合があります。プリンターの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。
	印刷ができない、またはかすれやスジが入る。(下記※1)	長期使用していない。または、外してあったカートリッジではありませんか。	ヘッドにインクがついたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、印刷しない可能性があります。詰め替える前に必ず印字できるか確認してください。
		他社のインクと併用していませんか。	純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなる恐れがあります。
		詰め替え回数を確認してください。	詰め替え回数が多くなると(3~4回までが目安)カートリッジ内のインク吸収体が劣化し、インクの流れや吸収に支障が生じ、印字の状態が悪くなりやすくなります。新しいカートリッジへの交換をお勧めします。
		プリンタヘッドにインクが余分についていませんか。インクの入れ過ぎの可能性があります。	インクを入れ過ぎるとヘッドにインクが出て溜まり、ノズルをふさいでしまいます。ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクを吸収してください。
		インク注入量が不足していませんか。	注入口からの漏れなどのため途中で注入を止めた場合でも、その後、まだインクが入ることがあります。再度、インクを注入してみてください。
		色合いがおかしい。	ノズルチェックパターン印刷をしてください。 カラーの場合:注入した場所(注入口)と詰め替えたインクの色が合っていますか。 他社の詰め替えを先に行っていないか。
インク残量表示について	インク残量表示がもどらない。	インク残量検知を無効にして使用しますので表示されません。	詰め替えた後のカートリッジはインク残量検知機能を無効にして使用しますので、そのカートリッジを使用中は残量を表示しません。新品カートリッジを取付けることにより再び有効となります。
印刷の続行と残量検知機能解除操作について	残量検知機能解除の画面表示が現れない。	解除の画面表示は、すぐ現れない場合もあります。	詰め替えたインクタンクをプリンターに取付けて通常通り印刷が実行されれば、継続して使用できます。

※1:改善しないままクリーニングを繰り返すことはしないでください。詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいます。
※上記以外の場合はつめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。

よくあるご質問

Q1 インクが入らない。インクを入れたのに漏れてくる。詰め替えができない。	「キヤノン用」と表示された純正以外のインクタンク(再生品、互換品)か他社品の詰め替えインクを使用していませんか。構造や方法が異なるため正常に詰め替えができない恐れがありますので、使用しないでください。	
Q2 インクを入れたのに、「残量表示」が表示されない。×や!のマークが出ている。	インクタンクの特性上、インクを入れた後でも残量記録が復元されないためにこれらのマークは再表示されます。印刷は続行可能ですので、実行してください。	→手順⑧
Q3 「残量がない」とのエラーが表示されて、プリンターが停止した。(動かない)	手順⑧「インク残量検知機能を無効にする」のボタン操作を行い、エラーを解消してください。	→手順⑧
Q4 「残量が検知できない」とのエラーが表示されて、プリンターが停止した。(動かない)	手順⑧「インク残量検知機能を無効にする」のボタン操作を行い、エラーを解消してください。	→手順⑧
Q5 他のエラーが表示されて、プリンターが停止した。(動かない)	詰め替えによるものではなく、本体やインクタンクのエラーかトラブルの場合があります。プリンターの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。	

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター

tel:0120-968-268

受付時間:月~金(土日・祝日をのぞく)
9:00~12:00 13:00~17:00

inksupport@sanwa.co.jp

お願い

ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

岡山サブライセンター 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311
東京サブライセンター 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011
<https://www.sanwa.co.jp/>

ver.1.0

BI/AH/KSDaKi

※フリーアクセスには、050番のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますようお願いいたします。